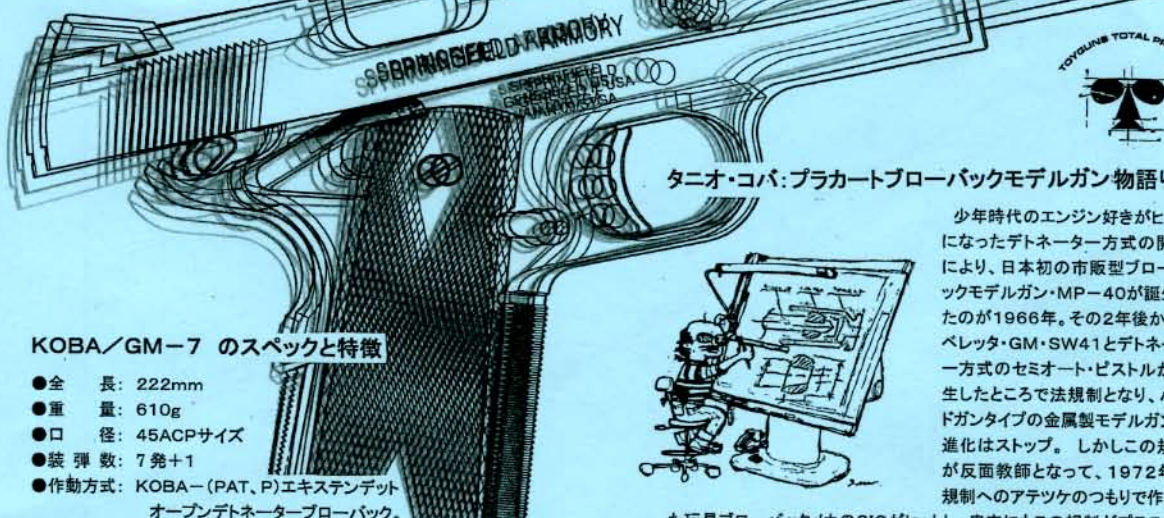


PAT'S EXTENDS DETONATOR SISTEM. TANIO・KOBAYAMA/GM-7 BLOWBACK MODELGUN.



タニオ・コバ:プラカートブローバックモデルガン物語り

少年時代のエンジン好きがヒントになったデトネーター方式の開発により、日本初の市販型ブローバックモデルガン・MP-40が誕生したのが1966年。その2年後から、ベレッタ・GM・SW41とデトネーター方式のセミオート・ピストルが誕生したところで法規制となり、ハンドガンタイプの金属製モデルガンの進化はストップ。しかしこの規制が反面教師となって、1972年に規制へのアテツケのつもりで作



た玩具ブローバックメカのSIGがヒットし、皮肉にもこの規制がプラスチックのブローバックモデルガン発展の火付け役を果たす結果となる。

そして74年にABSボディのブローバックガバメント、MGCの開発ナンバー"GM-2"が誕生し、この初期モデルは(紙火薬仕様のプラスチックカートリッジ)を使う、オープンデトネーターブローバックという、ユニークなモデルガンであった。

しかし当時の汎用樹脂のレベルは低く、ABSはその名の通りアクリル・合成ゴム・スチロールの重合材であるために耐熱性と強度の面で、火薬の圧力と温度に耐えられず、数発に1発はバンクして悪評を買ひ、この"革命カートリッジ"君は短命にして引退した。

その後MGCのプラスチック製ブローバックモデルガンは、GMシリーズはSIGやM59と伴に、複雑だが連射性の高い(CP方式)に進化し、軽量安全で安価という特徴を持ったデトネーター方式のプラスチックカートリッジへの私の夢も果たしえないまま、時代はガスブローバック・エアガン時代へと移行していった。

時代は流れて21世紀。世間には、車両と電子工業界が育ててくれた"金属より軽くて強い高分子樹脂が氾濫。カーボンやグラスファイバーが入った耐熱樹脂製のエンジンカバーや強度部品にも誰も驚かない時代となり、タニオ・コバのエアガンにもこれ等の高分子エンブラが常用されるようになったおかげで、登場が早過ぎて果たし得なかった「安く丈夫な夢のブローバック・プラカート」が、今、実現する時代が到来したのです。

KOBA/GM-7 のスペックと特徴

- 全 長: 222mm
 - 重 量: 610g
 - 口 径: 45ACPサイズ
 - 装 弾 数: 7発+1
 - 作動方式: KOBA-(PAT, P)エキステンデッドオープンデトネーターブローバック。
 - 使用火薬: (BLK)用M, G, CAP. ※他のキャップは使用禁止。
 - 使用薬莖: アモルファスナイロン製、※真鍮薬莖は使用禁止。
 - 主要材質: ヘヴィウエイトナイロン/
アモルファスグラスナイロン/亜鉛ダイキャスト・その他。
 - 特 徴:
- 1 マルイ1911ベースのタニオカスタムと同様グレードボディに、MGC時代からのGMブローバックモデルガンノウハウの集大成メカニズムを搭載。
 - 2、世界初のデトネーターブローバックを開発して41年。パテントデトネーター方式で実現した、エコ&セフティーな強化樹脂カートリッジブローバック。
 - 3、外装アクセサリパーツ類が、マルイ1911用と共用使用が可能。
 - 4、マルイ1911用の種々のタニオオプションパーツも共用可能。
 - 5、1911用リアルサイズグリップの殆んどが装着可能。
- ※一部パーツによっては取り付け時に加工を必要とする事があります。

(PAT, P)エキステンデッドデトネーターって何?

オープンデトネーター方式のブローバックとは、薬莖がシリンダーの役目をし、デトネーターがピストンの役目をし、火薬燃料のブローバックモデルガンのエンジンの一方式。

他の方式よりとても構造は単純なのですが、薬莖とデトネーターとの寸法精度がとてもデリケート。このため実際には火薬の燃焼カスで双方の気密部分が汚れ、快調に連発させる事が難しいのです。

そこでこの難問を解決するためにタニオ・コバは、火薬の圧力がかかった時だけデトネーターの頭が膨らんで薬莖との内面とをシールする事が出来る(拡張性の耐熱素材)のデトネーターヘッドを考案した。



これがタニオ・コバの"特許・拡張式デトネーター"です。したがって、拡張特性のために薬莖との内面精度が金属よりもラフなプラスチックカートリッジでも、今までのデトネーター方式ではとても想像出来ないほどのパンチの効いたブローバックアクションが実現したのです。

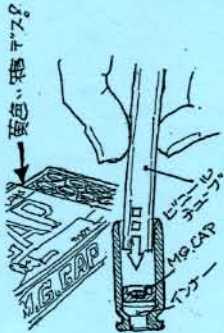
MGC/GMモデルガンシリーズの系譜 (参考資料)

- GM-1・1966年: 亜鉛ダイキャスト製 発火式ノンブローバック
- GM-1 コマンダー / "
- GM-1 ブローバックカスタム・1971年: 限定カスタム生産。
- これを基に007日本07用ブローバック・プロップを作る。
- GM-2・1977年: プラカート・ABS本格的ブローバックモデル。
- GM-3・1978年: 輸出専用亜鉛ダイキャスト製、ダミーカートモデル。
- GM-4・1979年: GM-2バリエーション・ナショナルマッチ。
- GM-5・1981年: リアルサイズのGMシリーズ70誕生。
- このモデルの途中からCP方式に変更され、15年間のオープンデトネーター方式は廃止される。
- GM-5/6・1983年: GM-5後期型リアルサイズカートンのCP方式となり、マガジンは本格的リアルサイズとなる。
- しかしその後GMシリーズはLEシリーズエアガンとなり、以降のブローバックモデルガンは子会社の新日本模型製となる。

●キャップ火薬について ※使用以前のご注意です！

使用するキャップ火薬は、デトネーターブローバック専用の[黄色い箱の“M, G, CAP”]に限定して使用してください。

※ 特に、“R”タイプや“リボルバー用”のキャップ火薬には“火炎用の酸化鉄粉が入っていて、これがデトネーターを削って作動不良となりますから、絶対に使用しないでください。”



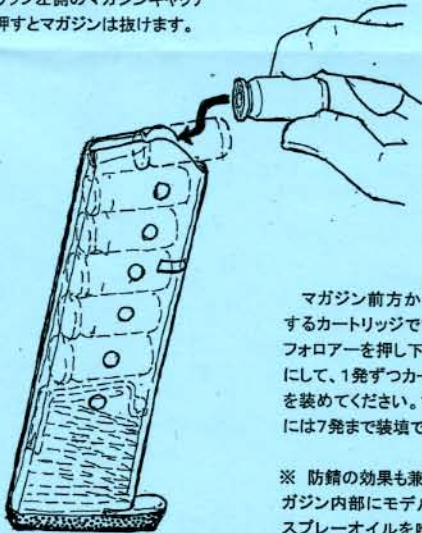
インナーはカートリッジの底まできちんと入れた事を確認し、黄色い箱の“M, G, CAP”を1粒入れ、付属のビニールチューブを使ってカートリッジの底まで静かに押してください。

※ キャップの中の火薬部分に触れると暴発の恐れがありますから絶対に**固い物や細い物**でおしまないでください。

<ご忠告> 重いカートリッジの使用は、エキストラクターとエジェクターの変形だけでなく、ブローバックバランスを損ねる原因となりますから、GM-7専用のプラスチックカート以外は使用しないでください。万が一タニオ・コバ承認のない**社外カートリッジ使用での故障の場合には、クレーム対象から外させていただきます。**

●マガジンへの装填

グリップ左側のマガジンキャッチを押すとマガジンは抜けます。



マガジン前方から、装填するカートリッジでマガジンフォアローを押し下げようにして、1発ずつカートリッジを装めてください。マガジンには7発まで装填できます。

※ 防錆の効果も兼ねて、マガジン内部にモデルガン用スプレーオイルを吹き込んでおくと、スムーズに装填できます。

※ カートリッジを装填したマガジンは、カチッとマガジンキャッチがロックするまで確実にモデルガンに差し込んでください。

※マガジン共用へのご注意！

注1、MGCのGM用マガジンには様々なタイプがあり、共用できるタイプと出来ないタイプがありますから、使用前には必ず全長とスライドストッパーの作動確認した上で、ご自分の自己責任においてご利用願います。

注2、また、他社GMマガジンの使用によって起きた故障の場合には、実費修理扱いとさせていただきます。



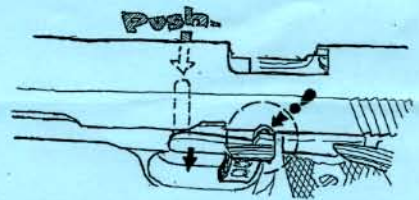
●キャップ火薬を詰めたマガジンをGM-7に装填し、スライドをストローク一杯に引いて第1弾をバレル内に送り込むと、連動してハンマーがコックされて激発準備はすべて完了。

注、弾の飛ばないモデルガンといえども、銃口かキャップ火薬の排煙が飛び、スライドの右後側へはカートリッジが勢よく飛び出しますから、銃口方向とカートリッジの飛び方向には人がいない事を確認してから引き金を引くように注意してください。

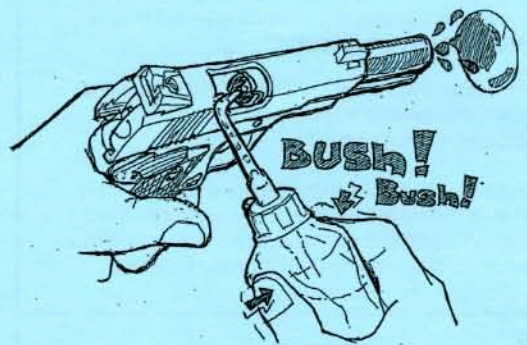
また、いくら軽いプラスチックのカートリッジといえども、飛び出す勢が強いため、カートリッジのエジェクト方向3~4メートルには薄いガラスや壊れやすい物が無い事を十分に確認する事も、忘れないでください。

●バレルチャンバー・イージークリーニング

バレル内のチャンバーとデトネーターヘッドは、20~30発くらいでキャップ火薬の燃焼カスが付いてカートリッジの送り込みが重くなってきます。そんな現象が出始めたら“チャンバー内のクリーニング”のサインです。



1、まずマガジンを抜いてから、スライドを35ミリほど引き、スライドを“分解ポジション”で止め、裏側からスライドストップを2ミリほど押しと、スライドはその位置でロックされます。



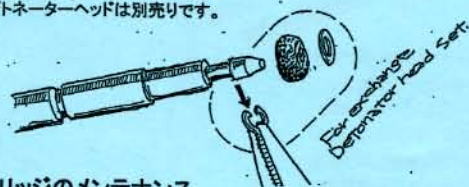
2、そのまま銃口をしたにした状態で、右側のエジェクションポートから[ノズルの曲がった小型のポリエチレン・オイル]等を使って、イラストのように、チャンバー内部とデトネーターヘッドに勢い良く水を3・4回吹き付けてください。銃口から落ちる汚れた水がきれいになったらバレル内部のクリーニングはオーケーです。

3、あとはGM-7をよく振って水分を切り、デトネーターヘッドの水分もふき取り、スライドストップを押し込んでスライドを戻せば、クリーニングはOK！

※今までのようにいちいちバレルを分解して洗うより、遥かに簡単！

● バレルとデトネーターのメンテナンス

デトネーターヘッドは耐熱ゴム製のため約100発ほどで消耗します。その時には、従来のデトネーターと同様にバレルを外し、デトネーターを取り出して“ヘッド部分”を交換してください。
※交換用デトネーターヘッドは別売りです。



● カートリッジのメンテナンス



一回使用する毎にカートリッジの内部とインナーを水洗いすれば、約10回ほど使用できます。内部の汚れが落ちなくなり、送り込みが悪くなると新しいケースと交換してください。

● その他のメンテナンス

スライド内部・レコイルスプリング周辺・ブリーチ周辺。そしてフレームメカニズム等は、時折汚れをふき取った後、軽くエアガン・モデルガン用のガンオイルを軽く吹き付けるだけでOKです。

● エアガンとモデルガンとの法律の違い！

モデルガンには銃刀法と総理府例によって定められ法律があり、これに違反すると重大な法律違反として相当の量刑が科せられますから、特に以下の事は絶対に守ってください！。

- “金属スライド/金属フレーム/金属バレル/スチール撃発部品”との交換する行為。→まず総理府例では、GMのような「銃身分離タイプ構造の金属性モデルガンは禁止」されています。したがって、銃身分離タイプのスライド・同タイプのフレーム・同タイプの銃身等は、“例え何色”であっても、“法廷のインサートが入っていても、このタイプは総理府例違反です！”
- スチールハンマーやシアー等は、エアガンでは“グレーゾーン”ですが、モデルガンの撃発機能部品に相当する部品へのスチール材の使用は総理府例違反となります。
- つまり金属素材にする事によって、その部分は“金属製の模擬銃器の対象物”と判断されても反論は出来ないほど、モデルガンには、その歴史に準じた法律があるのです！
- 特にモデルガン規制の法律を良く知らない若い世代のショップオーナーさん達、自己流の身勝手な商売のために貴方のお客さんを法律の違反者にしてしまう危険性があるため、愛するモデルガンの将来の発展のために、関係法令への正しい理解をお願いしておきます。

※ STGA安全基準と安全設計のため、スライド内のカーボン樹脂のファイヤリングピンとアモルファス・グラスナイロンのブリーチブロック周辺は、分解交換は出来ません。

※ ただし、タニオ・コバへ送っていただければ修理はいたします。

(修理依頼方法)

修理をご利用される場合は、修理内容を明記のうえ、お買い上げ店および弊社までお送り下さい。

● 基本的に往復の送料はお客様のご負担となります。

● KOBA/GM-7 パーツリスト & 分解詳細図

I-1	HWタクティカルフレーム(ナット付)	¥9,000
I-2	HWスライドカバーAssy	¥10,500
I-3	バレル	¥1,800
I-4	標準グリップセット(LRセット)	¥1,000
I-5	メインSPブランジャー	¥150

D-1	ブランジャーガイド	¥600
D-2	スライドストップ	¥1,000
D-3	バレル・ブッシュ	¥800
D-4	グリップ・セフティ	¥1,500
D-5	ハンマー	¥1,200
D-6	エキストラクター	¥600
D-7	メイン・シャーシー	¥3,000
D-8	マガジン・キャッチ	¥600
D-9	マガジン・キャッチ・ロック	¥150
D-10	シアー	¥550
D-11	ディスコネクター	¥600
D-12	トリガー	¥2,500
D-13B	オプション・トリガー	¥2,200 ~
D-14	フロントサイト	¥1,500
D-15	リヤサイト	¥2,000
D-16	バレル・リンク	¥200
D-17	アンビセフティ(LRセット)	¥2,000
D-18	メインスプリングハウジング	¥1,500

M-1	スチール・マガジン	¥2,600
M-1B	オプション・マガジン	¥3,600 ~

R-1	デトネーターヘッド・セット	¥200
R-2	リコイル・バッファ	¥100

L-1	リコイルスプリング・ガイド	¥2,500
L-2	デトネーター	¥1,500
L-3	バレルリンク・ピン	¥60
L-4	エキストラクター・ピン	¥60
L-5	フレーム・ナット M4ナット〈1個〉	¥200
L-6	シアー・ピン	¥180
L-7	ハンマー・ピン	¥180
L-8	スライドストップ・ブランジャー	¥180
L-9	セフティ・ブランジャー	¥180
L-10	ハンマーストラットピン SPピン2×7	¥50
L-11	トリガーピン SPピン1.5×5	¥50
L-12	メインスプリングキャッチ・ピン	¥180
L-13	ハウジングピン	¥200
L-14	リコイルスプリング・ブラグ	¥1,500

SP-1	リコイルSP	¥300
SP-2	リコイルアシストSP	¥300
SP-3	エキストラクターSP	¥150
SP-4	ハンマーSP	¥250
SP-5	シアーSP	¥400
SP-6	マガジンキャッチSP	¥60
SP-7	サム・セフティ・SP	¥60

P-1	トリガーパー	¥500
P-2	ハンマーストラット	¥400

SC-1	シャシーSC1	タップ2.6×8皿	¥50
SC-2	シャシーSC2	キャップ2.6×6	¥50
SC-3	デトネーターSC	ホーロー-M3×6	¥50
SC-4	FサイトSC	ホーロー-M2×4	¥50
SC-5	RサイトSC	M4×6.5	¥200
SC-6	グリップSC	M4特殊×4〈1個〉	¥100
SC-7	トリガーSC	ホーロー-M3×8	¥50

※上記の価格には消費税は含まれていません。

● 別売りオプションパーツ

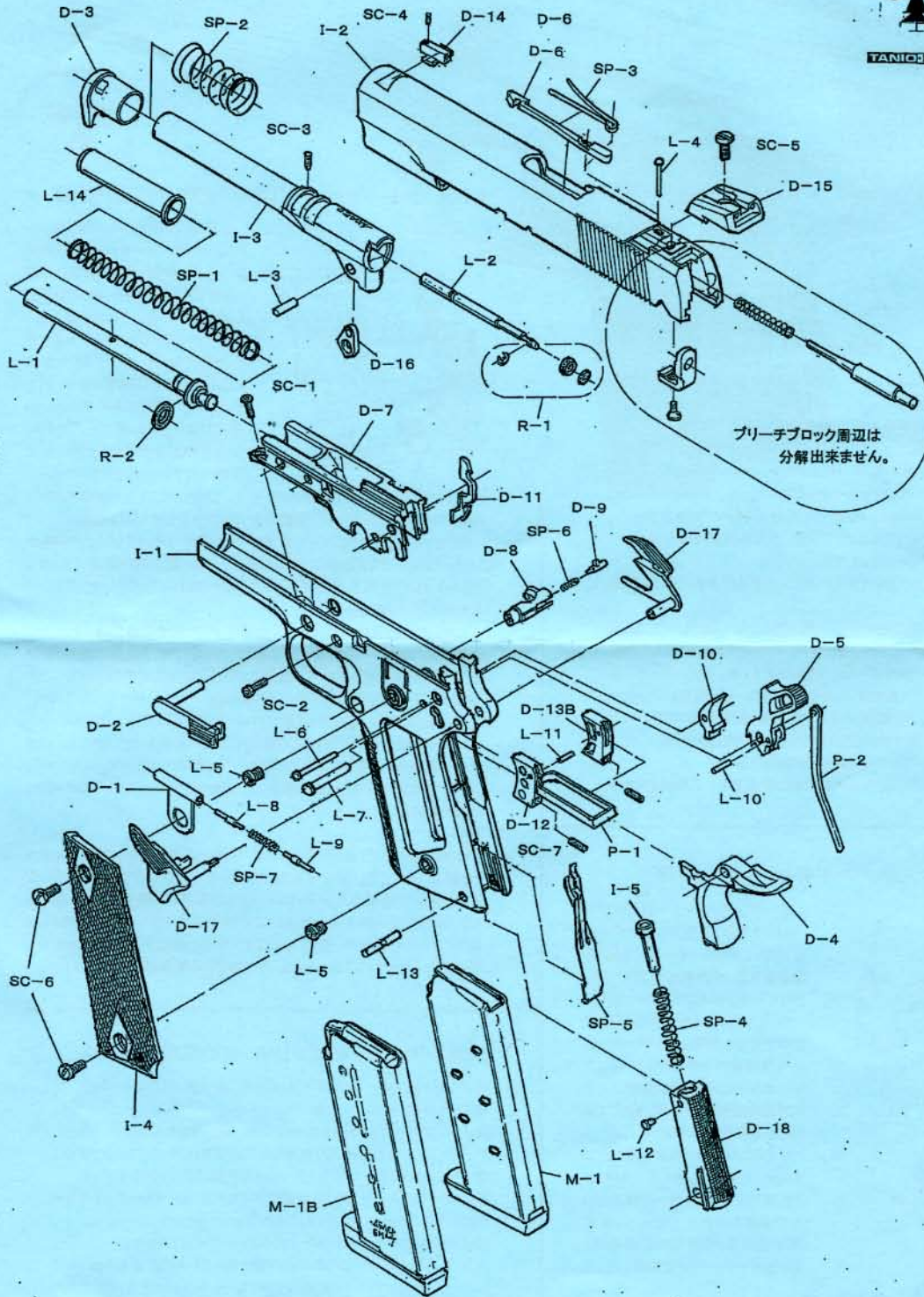
※下記の価格はすべて消費税が含まれています。

<45BLK・プラスチックカートリッジ>20発標準セット	¥1,050-
“50発の金額で60発買える” お買い得セット	¥2,650-
<デトネーターヘッド&ERリング5個・スベアーセット>	¥1,050-
<スベアーマガジン>	
バンパー付き改良型スチールマガジン (新価格)	¥2,730-

※その他のオプションパーツ類の詳細はコバ・ホームページへどうぞ。

TANIO・KOBA

TANIO-KOBA/GM-7 BLOWBACK MODELGUN.



ブリーチブロック周辺は
分解出来ません。

●分解と組み立てや操作手順等は、MGCのGM-5と同様です。

Illustrated by T. Kobayashi

URL: <http://www.taniokoba.co.jp>

E-mail: <kobainfo@taniokoba.co.jp>

(有)タニオ・コバ 〒330-0851

埼玉県さいたま市大宮区榊引町 1-315-1: 電: 048-652-5046/fax: 048-652-5146